

## 学校評議員会の実施報告書

|            |           |
|------------|-----------|
| ホームページへの掲載 |           |
| 済・未        | 7月21日掲載予定 |

---

学校名 岐阜県立大垣特別支援学校

学校長 錦見 政 哲

所在地 大垣市西大外羽 1-227-1

電 話 0584-89-4816

---

- 1 会議の名称 平成29年度 第1回学校評議員会
- 2 会議の構成
- |         |            |       |
|---------|------------|-------|
| 学校評議員   | 粥川 加奈子     | (企業)  |
| 学校評議員   | 野崎 重光      | (地域)  |
| 学校評議員   | 山田 毅彦      | (機関)  |
| 学校評議員   | 柳 葉子       | (機関)  |
| 学校評議員   | 掛上 真       | (機関)  |
| P T A会長 | 岩間 緑       | (保護者) |
| 学 校 長   | 錦見 政哲      |       |
| 事務部長    | 片野 徹       |       |
| 小中学部教頭  | 青山 幸二      |       |
| 高等部教頭   | 新川 教       |       |
| 小学部主事   | 水谷 克       |       |
| 中学部主事   | 川瀬 京子      |       |
| 高等部主事   | 西村 美穂      |       |
| 高等部主事   | 川瀬 和仁 (欠席) |       |
| 教務部長    | 樽井 良和      |       |
- 3 会議の目的 学校評議員方々から、専門的な立場から学校運営に関して建設的なご意見をいただき、学校教育の振興に寄与することを目的とする。
- 4 会議の開催 第1回 平成29年6月28日(水) 9時30分～11時30分  
第2回 平成30年2月中旬(予定)
- 5 会議の概要 ①学校評議員の委嘱  
②授業参観

- ③平成29年度 学校概要及び経営方針について
- ④平成29年度 児童生徒の取組・活動の様子について  
(小学部・中学部・高等部より)
- ⑤平成29年度 学校行事及びPTA事業計画について
- ⑥平成29年度 使用教科書及び作業製品について
- ⑦平成28年度 高等部卒業生の進路状況について
- ⑧質疑応答、学校評議員よりのご意見・ご指導
- ⑨閉会

**委員1**・・・きめ細やかに指導していただけてありがたい。この学校の経営については先生方にお任せしていればよいという思いである。だが、一般社会でそれに応ずる取り組みがなされていないというのが現状である。できるだけ社会に向けてアピールしていただきたい。また、自分自身も、バリアフリー教育を社会に広げるつなぎ役にならなければならないという思いがある。

質問・・・生徒が下校した後の日中デイサービスがかわなみ作業所からいろいろなところに散らばったが、実際にどういう状況になっているか。学校と日中デイサービスとの連携、日中デイサービスの体制について不安に思っている。

回答・・・事業所とは連携を取りながら支援をしていただいている。学校参観や事業所見学を相互に行い、情報交換・共通理解を進めている。

**委員2**・・・先生方の努力に感心させられる。先生方にお任せしておけば大丈夫という気持ちでいる。日新地区（住人）としても、支援学校に協力できることがあればしていきたいと考える。

**委員3**・・・現在は柿の木荘で勤務しているが、以前にひまわり園に長く勤務しており、児童生徒の中に見知った顔があった。先生方の子どもへのかかわりについては、本当に柔らかく受け入れられているという印象をもった。

子どもにとっては学校へ行くのが楽しいというのが一番大事なことなので、以前かかわっていた児童生徒が、本当に元気になっていて安心した。

質問・・・今、放課後等デイサービスがあるため、保護者との連携が難しくなっているのではないかと思うが、どのようにしているのか。また、児童生徒のコミュニケーション力を重視しているということであったが、その具体的な指導方法についてお聞きしたい。

回答・・・保護者との連携は、連絡帳でのやり取りが基本であるが、些細なことでも電話で連絡している。また、保護者にお会いできるタイミングを逃さないようにしている。(小学部)

回答・・・生徒たちは様々な実態であるが、発語のない生徒も話したい気持ちはもって

いる。サインを使用したり、ブザーを使ったりしてコミュニケーションを取るケースもある。発語はあっても、うまくコミュニケーションが取れない場合には、教員と交換日記をするなどの手立ても行っている。(中学部)

回答・・・スイッチや音声機器を使うことにおいては、大垣工業高校等、他の学校との交流において、当校のニーズを伝えて機器を作ってもらっている。職業コースでは自力通学をしているが、コミュニケーション力が未熟なためにトラブルになるケースがある。そういった事象への対処方法について重点的に指導を進めている。(高等部)

**委員 4**・・・他の高等学校の生徒と交流していることを聞いて、違った視点での社会の理解促進につながると感じた。

相談事業所にいると、いろいろな生徒とかかわる機会があり、先生方が保護者の方との信頼関係作りに取り組んでいることを感じるが、先生には言えないということが時折耳に入ってくることもある。ご家族にもいろいろな方がいらっしやる。外国の保護者の方など、お便りやメールが分からないということや、進路の具体的な話が難しいということもある。家庭に応じた支援が必要だと感じます。また、高等部卒業後の方が長いので、一般就労されている卒業生は特に、一般の人とのつながりが大切である。地域の中で当たり前で生活することにつながる余暇がないか考えていくことが必要ではないかと思う。

放課後等デイサービスがとても気になる。実際にデイサービスがどういうところなのかについては、相談支援センターを入れていただけると卒業後を見据えた対応ができると思う。

**委員 5**・・・今年度人事異動により、前年度の方から交代した。働くということは、仕事ができるだけではなく、コミュニケーション力が大切である。失敗した時に報告ができるか、困った時に周りに伝えることができるか。卒業生の、よい評判がよい結果につながる。高等部の送り出しのところでハローワークとうまくつながるように、一人目の受け入れでよい評価をいただくことができると、次へとつながる。よくないとそこで途切れてしまう。

質問・・・職業コースと普通コースの生徒の振り分けはどのようにしているのか。

また、学年の途中でコースの変更もあるのか。

回答・・・入学前の教育相談を十分に行い、教育課程等詳しく説明した上で、保護者がどちらかを選択し出願する。

学年の途中でコースを変更するについては、状況が変わり保護者からの要望があって、変更したことが過去にあった。

質問・・・一般就職に近い方が職業コースだと思うが、職業コースに生徒数が偏ることはないのか。

回答・・・教室数が足らずに厳しいこともあるが、県内の各地に特別支援学校が新設されたので、実際は解消されてきている。

**保護者**・・・小1から高2まで11年間、当校でお世話になっている。小学部では6年間先生が支援してくださり、基礎的なことがかなりできるようになった。

中学部では、小学部の頃と比べると先生とかかわることが少し減った。

高等部になるとさらに減った。高等部では作業学習もレベルアップする。自立に向けて取り組んでいるが、就職先があまりない。現場実習で、どこへ行っても定員いっぱいなので改善してほしい。障がい者雇用がもっともっと進むとありがたい。

## 6 会議のまとめ

○学校評議員の皆様よりのご指導・ご高評

**委員1**・・・大変なお仕事であると感じた。県の行政が担っていかなければならないことがたくさんあると感じた。通常の学校に通っている人で、特別支援学校の方がよいと思われる生徒がいる。保護者の考えも大切だが専門家の知識もしっかり伝えていくことが大切である。

**委員2**・・・今後ともよろしくお願いします。

**委員3**・・・生徒、先生のよい表情が見られて大変良かった。環境的に、木材を使用している校舎（壁、床など）がありとても良い。施設の職員に、紙工班の作業学習の様子をぜひ見学させていただきたい。

**委員4**・・・久しぶりに学校に来ることができて良かった。寄宿舎では、宿泊体験等をしているようであるが、寄宿舎がなくなるという話を聞いている。

回答・・・現在、寄宿舎生が2名在籍している。県教育委員会も今後の方向性について検討している。その後、対応を考えていきたい。

**委員5**・・・初めての学校見学であったが、生徒の印象もとても明るかった。個性豊かな生徒たちばかりである。8月に実施する職業相談の時に、またお世話になるのでよろしくお願ひしたい。

**保護者**・・・久しぶりに小学部、中学部の様子を見学した。自分の子どもも昔はこうだったと思い起こしながら見学することができた。評議員の皆様にも助けていただくことが多いと思いますが、よろしくお願ひしたい。

挨拶（校長）・・・それぞれの立場から貴重なご意見をありがとうございました。再度、考えさせていただき、今後の支援に生かしていきます。いつでもおいでいただき、ご意見をいただきたい。